

## 会 議 録

会議の名称	平成22年度 第3回地域協議会
開催日時	平成23年1月28日 午後3時30分から
開催場所	矢島インフォメーションセンター2階会議室
出席者氏名	<p>委員（18名）</p> <p>小沼文夫、佐藤政一、佐藤允尚、佐藤洋一、正木正、大井仁史、佐藤公、土田克夫、土田長夫、土田典子、茂木美寶子、岸田良子、小番けい子、佐藤孝義、佐藤久美、佐藤嘉孝、豊島一郎、菅原賢一</p> <p>由利本荘市（9名） （矢島総合支所）</p> <p>総合支所長 植村清一、主幹兼振興課長 土田武弥 産業課長 泉谷健一、建設課長 工藤一男、矢島教育学習課長 佐藤勝一 （事務局・・・振興課）</p> <p>参事 三浦芳春、主席主査 三浦浩喜、主査 三浦利彦、主任 佐々木有希子</p>
欠席者氏名	五十嵐徳、土田稔、小番より子、佐々木知栄、佐藤系悦、佐藤伸一、原田浩司、茂木昭二郎、茂木保、伊豆秀一、佐藤寿美子、蒲田則夫 以上12名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 総合支所長あいさつ</li> <li>4. 報告事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 矢島地域における雪害状況について</li> </ol> </li> <li>5. 協議             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域づくり推進事業について                 <ol style="list-style-type: none"> <li>2) 23年度の事業要望の調整について</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>6. その他</li> <li>7. 閉会</li> </ol>
会議の経過	別紙のとおり

## 平成22年度 第3回地域協議会

### 1. 開会 15:30～(進行:振興課長)

振興課長

### 2. 会長あいさつ(正木会長)

正木会長

昨年11月11日に第2回地域協議会を開いておりますが、第3回は地域づくり推進事業の補助金額の調整を案件としたいということで、12月21日に幹事会で協議しております。正月三日はいいお天気でしたが、予想だにしない豪雪に見舞われており、命にかかわる事故を始め、日々災害が起きてしまっている状況です。皆様雪との闘いは慣れているかと思いますが、今年は稀に見る豪雪に日々ご苦労されていることと思います。事故等に合わないよう地域で協力し合いながらこの状況をしのいでほしいと思います。それでは暫時の間、ご協議にご協力をよろしくお願いします。

### 3. 総合支所長あいさつ(矢島総合支所長 植村清一)

植村総合支所長

ただ今正木会長からもお話がありましたが、この豪雪で皆様お疲れのところご出席いただきまして誠にありがとうございます。土曜日には、心配しておりました雪による死亡事故が発生してしまいました。本当に残念な思いであります。心からご冥福をお祈りいたします。雪の状況ですが、今日の新庄地区での積雪深は、175cmであります。昨年の同時期は66cm、豪雪と言われました平成18年同時期には119cmですので、いかに今年の雪が多いかがわかります。市でも市長が本部長となり、雪害対策本部を設置して対応を図っているところですが、難儀しております。そんな中でいくつかご報告いたしますが、道路除雪については昨日、矢島生コンから国道108号までの約500mの間を、雪崩の危険があるということで通行止めさせていただいております。大型車や生コン車が走りますので、小田地区の皆様にはたいへんな難儀をおかけしますが、安全のためですのでご理解をいただきたいと思っております。道路除雪につきましては1月6日から現在まで毎日早出、休日出勤でオペレータが頑張っております。ただ、拡幅や排雪が遅くなってきている状況下にもありますし、除雪機械も故障が目立つようになってきております。オペレータにもいろいろな苦情が来ますが、精一杯頑張っていることをご理解いただきながら、励ましていただければありがたいと思っております。そして心配なのが高齢者と空き家の問題です。雪害状況についてこの後詳しくご報告いたしますが、やはり怪我や農業施設等の被害等も出ている状況にあります。高齢者世帯については、民生委員の皆様から巡回していただいておりますが、116世帯ある独居老人世帯につきましては、支所の職員が5班体制で巡回しております。安否の確認や屋根の雪の状況をチェックしております。屋根の雪が多い場合には、支所で業者を紹介する手筈をとっているところです。もう一つ問題なのが、空き家の所有者の所在がわからないという状況です。そういった場合には市の費用で対応していきたいと思っておりますが、現在のところ3棟対応しております。今後、七日町地区・水上地区等を計画しておりますが、このとおり業者がいっぱいありますし、空き家そのものがかなり老朽化しているということで、危険性もありませんが実施まで至っていないというのが現状です。まだ雪も当分続くようですので、皆様からも安全確保等につきまして、ご協力をいただきたいと考えております。それから来年度予算の件ですが、今現在、財政課を中心にまとめの段階に入っております。今日ご報告できる事項はありませんが、次回につきましては詳細にご説明できると思いますので、よろしくご報告申し上げます。

#### 4. 報告事項

振興課長

矢島地域における雪害状況について資料に基づき説明

#### 5. 協議

正木会長

それでは地域づくり推進事業の協議に入ります。平成23年度の補助要望額の調整については幹事会で協議しており、事前資料としてお送りしております。若干動きがあったものをお知らせいたしますが、「鳥海高原菜の花まつり」についてです。先般、魁新聞にもバイオマス関係の記事が出ておりますが、その関連事業で、二次活用を目的とする「バイオマス資源の利活用推進事業」の要望書が提出されております。このことにつきましてはA委員に後程ご説明いただきますが、新たな案件となっておりますので、ご協議をいただきたいと思っております。

事務局

平成23年度地域づくり推進事業にかかる事業要望について資料に基づき説明

取り下げ

- ・鳥海高原（ももの）菜の花まつり
- ・鳥海高原矢島スキー場クロスイベント

内容変更等

- ・矢島ひなめぐり
- ・八朔祭り
- ・矢島駅前花壇を華やかに
- ・根城館プロジェクト
- ・丸亀文化交流観光事業

追加

- ・バイオマス資源の利活用推進事業

A委員

「バイオマス資源の利活用推進事業」についてご説明いたします。当初「鳥海高原（ももの）菜の花まつり」のご提案をさせていただいております。そのことについては、本庁観光振興課で予算措置をしていただけることから取り下げとなりました。その関連事業として、矢島地域で何かできないかとのお話がありましたので、バイオマス事業のご提案をさせていただきました。ただ今由利本荘市で、バイオマスタウン構想というものが策定中です。矢島地域でも廃食油回収でバイオマス利活用の推進をするということで、それに繋げた取り組みができますし、拡がると考えております。今回は電動搾油機を購入したいということでございます。この電動搾油機を購入しますと、桃野で栽培されている自家製の菜の花を搾油できることになり、そういったことで搾油体験もできるようになります。それから循環システムのPRにも繋がります。ご存じのように、今矢島高校で菜の花を栽培して搾油をしておりますが、搾油機を他所から借りてきて行っております。そういったところに貸し出しをすることも可能になりますし、また、今後減反政策ということになると、景観作物で菜の花栽培が増えることと思っております。そういった農家で栽培した景観作物も、ただ植えるだけではなくて、それを採取して自家製の油を搾油もでき、農家にもメリットが出てくるのではないかと思います。そういったことから搾油機を購入して、いろいろな体験をしていただければ、地域に貢献できるのではないかと思います。ご提案をさせていただきました。

正木会長

ご説明ありがとうございました。皆様から何かご質問はありませんか。ちなみに例えば菜の花5畝部・1反部、といったあたりでどのくらいの油がとれるのでしょうか。

A委員

出来によってとれる油がだいぶ違うようですが、昨年ですと、小さい瓶でだいたい120から130本はとれました。

B委員

A委員のご提案、とても良いことだと思います。設置場所はできればどこかに求めて、委託作業という形はいかがでしょうか。貸し出しとなるとなかなか、物というものは長持ちしないと思います。どこかに拠点を設けて、何十kgいくら、というふうにできれば効率もよいのではと考えますので、ご検討いただければと思います。もう一つですが、「丸亀市文化交流観光事業」について、計画書の中で気になる部分がありました。事業費の予算書がありますが、このことは他事業の予算書とは異なるのではないかと思います。他事業は自己財源プラス市の補助金プラスその他の収入を以って支出していく、というのが大概なのですが、この丸亀関係の予算書だけは、物品仕入れをしながら販売をしていくという、一つの商法的なものが出てくると思います。この予算書を見ると、自己財源と市の補助金で総額の予算をしながら支出項目を見出していくという、表し方が気になりました。仕入れたものを販売するのですから、その売上額が雑収入なり出てくるものではないかと思います。

正木会長

B委員からそのようなご意見がありました。何かございませんか。事務局補足説明はありませんか。

振興課長

B委員のおっしゃるとおりだと思います。予算の組み方といいますか、実際に観光協会ですれくらい負担するののかというところが出てきておりませんので、その部分がわかる形でもう一度精査し直していただきます。

事務局

観光協会の事務局である産業課と再度協議して、内訳について改めて提示いたします。

正木会長

B委員のご質問について事務局でご協議いただき、後日提示をお願いします。他にございませんか。新規の「バイオマス資源の利活用推進事業」について今回ご説明いただき、新たにご提案させていただいておりますが、この事業についてはご了解いただけますか。

委員全体

はい。

正木会長

それでは「バイオマス資源の利活用推進事業」につきまして、新たに採択したいと思います。第2回地域協議会でも触れている事業が大半ではございますが、他に何かございませんか。それでは私からですが、先般の幹事会の中でのご提案についてです。今は地域づくり推進事業に関わ

る案件が地域協議会の主題になっておりますが、合併前も含めてですが、地域課題の提案の機会があってもいいのではないかと提案です。共通課題があるのではないかと、というような提案がありました。地域づくり推進事業に関わらず、抱える課題があると思いますので、そういった機会を地域協議会の中でも議題にあげてほしいということです。推進事業に関わらず、地域づくりというものは多面にわたって考えなければならないものですので、次回の幹事会については、このことも含めて協議しご提案できるものはして、皆様にもご意見を伺いたいと思います。事前に皆様に通知を差し上げてそういった要望をとりまとめられる態勢になるのか、そのあたりも含めて幹事会で相談したいと思いますので、よろしく申し上げます。それから、先日8地域協議会の正副会長会議がありました。由利地域では、この地域協議会にその地域の選出議員をお呼びして、懇談をしているそうです。由利地域では合併前からそういったことがあったらしいのですが、その部分も皆様とご協議できればと考えております。皆様から何かございませんか。

B 委員

それは由利地域のみでしょうか。他の地域も行っているのでしょうか。

正木会長

他地域全てに聞いたわけではないのでわかりませんが、由利地域では前から行っているそうです。

植村総合支所長

鳥海地区でもお二人、地元選出議員がいらっしゃいますが、地域協議会にご案内しております。ただ、会長が先程“懇談”という言葉が使われましたが、議員からはご発言はいただいておりません。議員から、地域協議会の生の声をお聞きしたい、というようなお話がありましたのでご案内しているということです。

正木会長

地域づくり推進事業が始まってから、このことについて協議が集中しているものですから、広い共通課題がないがしろになってしまっているのではという懸念がないわけではありませんので、このことも含めながら次回の幹事会で協議したいと思います。

C 委員

以前にもお話ししたような気がするのですが、夏まつり等の事業が由利本荘市内でたくさんあると思います。本荘地域の菖蒲カーニバルであったり、矢島地域のサイクルロードレースであったり、岩城地域の花火大会であったり。そういった事業が同じ日に重なって問題になり、なぜ調整しないのかと言われたことがあるのですが、結局主催している団体が違うので、調整がついていないということでした。しかし今度は同じ市になっておりますし、矢島地域だけでなく、他地域との連携といった部分も、幹事会で課題として調整をとっていただければ、より良くなるのではないかと思いますのでよろしく申し上げます。

正木会長

各地域で開催しているまつり関係の期日調整ということでしょうか。

C 委員

期日調整でもいいでしょうし、いろいろやり方はあるかと思いますが、同じ日に同じようなイベントを各地域で揃って開催するのは、非常に非効率かと思えます。

産業課長

各地域のイベント、特に観光部門につきましては、一概に各事業を廃止することもできないものですから、事業を継続するために同じ日に同じイベントがぶつからないように調整しております。

正木会長

去年は照合しておりませんが、以前はずっと由利地域とイベントが重なっていましたね。

産業課長

矢島地域で8月にサイクルロードレースを開催していた頃に、由利地域とはイベントが重なってありました。サイクルロードレースを7月最終週に開催することにしましたので、由利地域とは重ならないということになっております。昨年の方は本荘地域の花火大会と重なってしまいましたが、趣旨が違うということでそのまま開催しました。

D委員

本荘地域・岩城地域・由利地域、花火大会が三つも必要なのかと言われてますが、どこもやはり思いがあるため、協議しても調整ができておりません。市からの補助をもらわずに自己財源で開催している芋川のあたりは、そういったことは気にせずという話も出のですが、他はやはり補助金のこともありますから、なかなか調整できずしております。

正木会長

いずれそういった関係者の中での意見調整が図られるのが早道だと思いますので、ひとつご尽力をお願いします。

B委員

ただ、合併前の事業予算規模が、合併後も事業査定の段階で尾を引いているということがあるというようなお話があったかと思いますが、それはナンセンスではないかと思えます。結局単独町の時はそれぞれの長の思いでいろいろな予算措置をしてきたかと思えます。例えば、なぜ由利地域だけがあんなに豪華なゲストを呼べるのかという話もあります。やはり合併前にこれくらいの予算措置をしたから、今もそれ並みで予算措置をしなくてはならないという基準は、おかしいかなと思います。事業をなかなか廃止とは言えないでしょうけど、調整して、事業総額の何%の措置とするとか、前向きでわかりやすい基準を作れないものでしょうか。

植村総合支所長

地域毎に大きい事業を持つということも大事ですが、合併したからこそ例えば3地域で一つ大きい事業を開催して多くの人に来てもらうという方向も大事かと思えます。それと、やはり補助金のことばかりでなく、企業等からのそれ相応の寄付金も難儀して集めているということも事実です。花火大会等は観光協会でもかなり難儀していると思えます。一概に市の補助金だけで行っているということではないということです。

B委員

そういうことではないでしょうが、市の補助金の一つの目安として、合併前の予算が基準となっているような部分があると聞いたのでお聞きしました。

植村総合支所長

確かに基礎となる数字にそういった根拠はあると思いますが、合併したからということで今まで各地域で行っていた、例えば文化講演会等も鳥海・矢島・由利持ち回りで一つ行うとなっておりますし、これから検討していかなくてはならないのが産業文化祭です。やはり各地域で小規模に行くか、集約して規模を大きくするかというのもこれから議論していかなくてはなりません。

#### B 委員

全て本荘地域に集約されることになると、賛成しがたい部分はあります。地元から離れるとどうしても足は遠のくということと、住民意識が薄れるということもあるかと思います。そこで何を目的とするかという考え方だと思いますが。

#### 正木会長

8地域もありますから、やはり拠点拠点でイベントを整理していければと思います。

#### C 委員

地域間で話し合う機会がないと、いつまで経っても地元地域援護が残ったままになりますので、話し合う機会が設けられたらと考えます。

#### 正木会長

そういった機会を設けられるように努力いたします。他になければ、今回の協議を終えたいと思います。ありがとうございました。

## 6. その他

#### 三浦主査

2月4日、日新館において開催予定の「市民とのふれあいトーク ～市民と共に歩む市政の推進をめざして～」の参加要請

## 7. 閉会（16：35）